

新たな町民の代表12人が決まる 只見町議会議員一般選挙結果

任期満了に伴う只見町議会議員一般選挙は、定数12人に対し、現職8人、元職1人、新人3人が立候補し、計12人の無投票当選が決まりました。町議会議員選挙が無投票となったのは、28年ぶりとなります。

当選証書付与式は、3月24日に役場町下庁舎で行われ、町選挙管理委員会の舟木和一委員長から当選者一人一人に当選証書が手渡されました。任期は令和6年4月20日から4年間で。



▲証書を受け取る当選者



佐藤 孝義(73)
当選回数 5回



矢沢 明伸(69)
当選回数 2回



酒井 右一(74)
当選回数 5回



中野 大徳(65)
当選回数 5回



山岸 国夫(77)
当選回数 3回



小沼 信孝(64)
当選回数 3回



菅家 忠(43)
当選回数 2回



鈴木 好行(67)
当選回数 3回



齋藤 猛(67)
当選回数 1回



角田 誠(45)
当選回数 1回



目黒 道人(50)
当選回数 2回



平山 真恵美(52)
当選回数 1回

※届出順に掲載しております。

人生100年時代のために
介護予防講演会開催

介護予防講演会「転倒骨折予防の秘訣」ロコモティブシンドロームの予防」が2月23日に行われ、町民約60人が参加しました。

講師を務めた大谷晃司氏は、自分でできるロコモ予防として、丈夫な骨を維持するための食生活、体重をコントロールすること等の大切さを参加者に伝えました。

また、転倒予防には楽しく継続した運動も重要と話し、椅子に座ってできる太もも上げ、片足立ち、つぎ足歩行、背中伸ばしを紹介しました。

※ロコモティブシンドローム(ロコモ)
：運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態



▲講師を務めた県立医科大学医療人育成・支援センター長の大谷晃司主任教授

笑うことの重要性を学ぶ
講話「笑う門には福来る」開催

地域コミュニティの活性化のために、講話「笑う門には福来る」T・S笑法のススメ」が3月16日に只見公民館で開かれました。

講師は、会津大学名誉教授の程子氏が務め、笑いの体操や失敗談を笑い飛ばすことなどを行い、和やかな雰囲気の話となりました。

程氏は、「笑いのスイッチは、心配事を減らしてくれます。負の出来事があっても『次に進もう。大丈夫。』と前向きに変えてくれます」と話し、笑う事の重要性を参加者に伝えました。



▲「一人ひとりをもっと笑えるよう願っています」と締めくくる程氏

災害などから国民を守る人財に
「自衛隊入隊者激励会」開催

令和6年度の自衛隊入隊者を対象とした「自衛隊入隊者激励会」が3月18日に行われ、今年3月に只見高校を卒業し、3月25日から着隊する酒井怜斗さんが出席しました。

激励会では、渡部町長と自衛隊福島地方協力本部の栗木茂幸本部長から激励の言葉が送られた他、防衛大臣がビデオレターで激励のメッセージを届けました。また、自衛官募集相談員の中野大徳さんから激励品が手渡されました。

激励を受けた酒井さんは、「部活動や学校生活で培ったものを生かし、励みたいです」と意気込みを話しました。



▲激励を受けた酒井怜斗さん(中央)

只見町が只見町の課題を考える
「大学生サミットin南会津」開催

人口減少や少子高齢化、交流人口の減少が課題となっている南会津地域の地域活性化を図ることを目的とした「大学生サミットin南会津」が、3月18日に開催されました。このイベントは、森林の分校ふざわが主催で、地方創生総合支援事業を活用し、実施されました。

第一部では、大学生が、人口減少が進む地域の課題と実際の取り組みなどの報告が行われ、只見ふるさと大使の高村帆香さんは只見スタンドについて発表しました。

第二部では、南会津地域と学生団体が持続可能な関わり方をしていくことを踏まえつつ、地域課題を解決するためのグループワークが行われました。



▲全国各地の学生団体が只見町に集まり、意見交換などを行いました